



試験成績書

平成24年 6月14日
依頼番号 依24-9

東日本パワーファスニング株式会社 殿

財団法人日本住宅・木材技術センター
理事長 岸 純夫



ご依頼の試験結果はつぎのとおりです。

1. 試験依頼者の名称 及び住所	東日本パワーファスニング株式会社 宮城県黒川郡富谷町成田 9-1-19
2. 試験概要	[目的] 自社の技術資料 [試験の概要] ねじ「タルキック II TK5×105 II」を用いて接合したたる木-軒桁の引張試験 を行い、その耐力を算出する。
3. 試験結果	別紙に示すとおり。(全12頁)
4. 試験受付日	平成24年4月6日
5. 試験実施日	平成24年4月18日
6. 試験実施場所	財団法人日本住宅・木材技術センター 試験研究所 東京都江東区新砂3丁目4番2号
7. 試験担当者及び 試験成績書作成者	技術主任 清水 庸介 研究員 森 和雄 室長 後藤 隆洋 特別研究員 鴛海 四郎

この試験成績書を転載するときは、必ず全文を記載してください。

4. 短期基準耐力の算出

短期基準耐力は、「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」の継手・仕口接合部の評価方法に準拠して求める。

(1) 特性値の算出

荷重-変位曲線より完全弾塑性モデルにより降伏耐力 P_y 等の特性値を算出し、図4. 1～図4. 6に示す。

(2) 試験体1体あたりの特性値は表4. 1に示す。

(3) 短期基準耐力は、下記の方法により算出する。

下記の①、②の試験荷重の平均値にばらつき係数を乗じ、5%下限値を求め、値の小さい方を短期基準耐力とする。

①降伏耐力 P_y

②最大耐力 P_{max} の2/3の値

(4) ばらつき係数は下式による。

$$\text{ばらつき係数} = 1 - CV \cdot K$$

ここで、CV; 変動係数

K; 信頼水準75%の95%下側許容限界を求めるための定数

(試験体数に依存し6体は $K=2.336$)

(5) 算出した短期基準耐力は、表4. 2に示す。

表4. 2: ねじタルキックⅡ TK5×105Ⅱの短期基準耐力

試験体記号	接合部位	載荷方法	短期基準耐力(kN)
PT	たる木-軒桁	引張	1.4